



## 知っておきたい、人気ファッションアイテムのデメリット!

個性をアピールするうえで洋服は非常に重要な要素と言えます。  
様々な素材・デザインの洋服が溢れ、着こなしやコーディネートも決まったルールはありません。  
商品を差別化するためにアクセントやシルエットで変化を持たせようとデザインされますが、そうしたアクセントが着続けるうえで、衣類にダメージを与えることも少なくありません。

### <部分使いのファー製品>

**問題点:** 着用で毛は擦り切れる(自然現象)

**ポイント:** 「フード」や「袖口」のファーが取り外せるタイプの方がベスト

※) 本体が水洗い出来てもファーが縫い付けられていると、  
ファーへの負担を考慮して十分なクリーニング処理が出来なくなります。

**注意点:** @繰り返し摩擦されると毛は擦り切れたりして抜けていきます。

@日光や蛍光灯などの紫外線により、退色や変色が生じます。



### <皮のアクセント使い>

**問題点:** 装飾デザインとして皮が扱われる例が多くなってきていますが、取扱いやケア等後々  
トラブルとなるケースが増えてきています。

**ポイント:** 革と本体は別にクリーニング処理するのがベストですが、アクセント使いではそれは  
難しくなります。

購入段階でケアラベルを確認したり、店員さんにケアの方法を聞いておくことが必要です。

#### 天然皮革の場合

**注意点:** @皮革部分が水分を吸収することで、硬化や破損が生じます。

@天然皮革は染色の染まり具合が弱く、洗濯やクリーニングで  
染料が溶け出す事があります。

その溶けだした染料が衣類の他の部分に移ってしまうと厄介です。



#### 合成皮革の場合

**注意点:** @合成皮革にはポリウレタン樹脂が使用されています。

ポリウレタンは時間の経過により品質が徐々に低下し、  
最終的には剥がれたりべた付いたりします(継時劣化)



### 着用や生活状況で、摩擦を受けやすい箇所



繊維は摩擦の影響を受けやすい物で、  
「一般生活の中では変化は避けられない」  
と言っても過言ではありません。  
変化とは、毛が抜ける・擦り切れる事。  
この変化は、自然現象として理解しておく  
事が大切です。

通常着用でスレやすい場所  
着用時の生活儒教でスレが生じる可能性がある場所

上記のような衣類の現象は、普段の生活の中に原因がありますが、**クリーニングする事により顕在化したり明瞭化する**ことがあります。